

こんにちは 松坂みち子 です

日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< No.290 2016.9.21 連絡先 402-1622 >



一般質問を行いました

介護保険について

◆窓口での対応は市民の立場で

介護保険が利用できるにもかかわらず、相談に行った窓口で「娘さんがいるから利用できません」と断られた実例を示して「理解に苦しむ」と批判し、しっかりとした研修のもとに市民の立場に立った対応を求めました。

◆新総合事業、基準緩和したサービスはどうなる

来年4月から始まる「新総合事業」。要支援の人たちが「介護保険」ではなく、市が作る「総合事業（現行相当のサービスあるいは基準を緩和したサービス）」を利用するようになるのですが、「基準を緩和したサービス」の内容がまだ何も決まっていないことがわかりました。この時期に内容を示せないのならサービス提供する事業者がそろわないことも考えられるため「現行相当のサービス」ですすめてはどうか問いました。市は「緩和したサービスの準備を進めている」と緩和したサービスを行うことにこだわりました。

地域の支え合いを作っていく事業では、今年10月に市内の4カ所（中之島・四ヶ郷・宮北地域も含まれています）にコーディネーターを配置してすすめていくとしました。

◆国が財政的責任をはたせ

今後も様々な「改正」が検討され、保険料は上がるが利用は制限される、さらに保険あって介護なしの状況になりつつある介護保険制度。国の負担を増やすよう要望することを求めました。市は「国が財政的責任を果たすよう求める」と答えました。



水道路（有本中島線）について

計画から50年間も何も手が付けられていなかった水道路が拡幅されることになりました。地元での受け止めはいろいろありますが反対の声はなく、自治会の協力体制もできています。こんなはずではなかったということの無いよう、住民の声をしっかり聞いて、説明は丁寧に行い、一日も早い実現を求めました。

みち子のひとりごと 沖縄

最近の最大の怒りは沖縄の裁判です。辺野古の新しい基地建設について安倍政権が翁長沖縄県知事を訴えていた訴訟で、「辺野古埋め立て承認の取り消し撤回に応じないのは違法だ」と国が勝ったのです。しかしこれには裏の話があります。国は、裁判が行われる福岡高裁那覇支部長を、それまでのリベラルな裁判官を異動させて行政べったりの裁判官に替えたのです。通常ではない人事異動です。この裁判で国寄りの判決を出させるために裁判官を異動させたと思いませんか。勝つために権力を利用して、何でもありの国のやりかたは許せません。腹立たしい限りです。さらに、和歌山選出の国会議員が沖縄担当大臣になり「早く片付けてほしい」となど発言。とんでもありません。この間の選挙で沖縄県には、自民党の国会議員は一人もいなくなりました。県民の声を聞かない議員はいらないということでしょう。県民の判断は素晴らしい。県民の声を聞かない政府は国民の声を聞かない政治を押し進めることには必至です。国民の声を聞かない政府はいりません。



